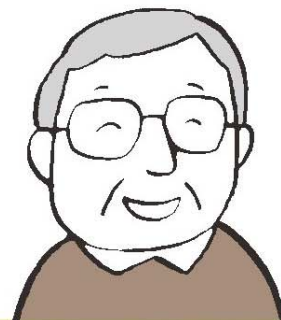
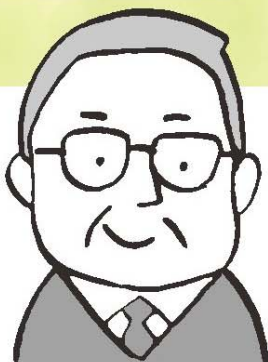


第7期 南島原市 高齢者福祉計画

概要版



令和6年3月
南島原市



1 計画の概要

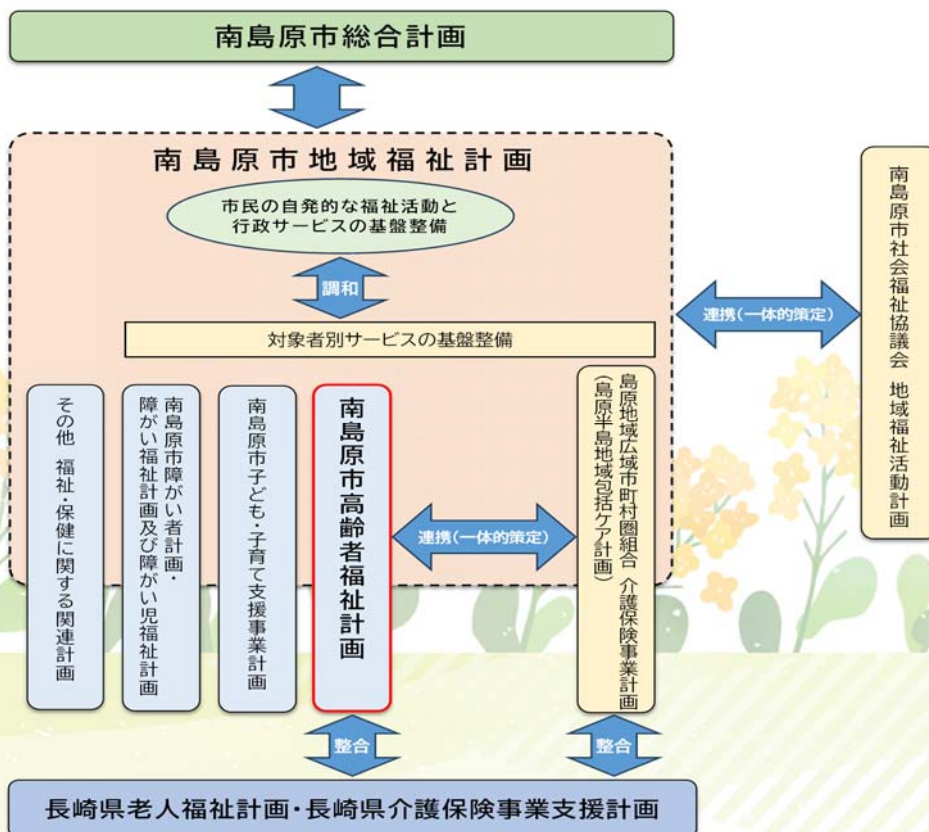
(1) 計画策定の背景と趣旨

日本の人口構造は、近年人口減少の局面を迎え、高齢化が進展し 2025 年（令和 7 年）にはこれまで日本経済を担ってきたいわゆる団塊の世代すべてが 75 歳以上の後期高齢者となります。また、2040 年（令和 22 年）までを見通すと、いわゆる団塊ジュニア世代が 65 歳以上となることに加え、85 歳以上の割合が急速に増加することが見込まれています。

本市における令和 5 年 10 月 1 日現在の高齢者人口は 17,520 人（高齢化率 41.9%）であり、うち、医療・介護ニーズが高くなる 85 歳以上人口は 3,844 人となっています。近年の推移をみると、高齢者人口は令和 3 年以降緩やかな減少傾向となっていますが、高齢化率は伸び続け、85 歳以上の割合も増加傾向となっており、福祉サービスや医療・介護等のニーズが増大する一方でその担い手の不足の問題が顕在化しています。

こうした状況を見据えたうえで、高齢者が、可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」を充実・深化させるとともに、更には、福祉の上位計画である地域福祉計画との調和を図り「地域共生社会」にも繋がる取り組みが求められています。

(2) 計画の位置づけ





2 計画の基本的な考え方

(1) 計画の基本理念

高齢者がいつまでも安心して 住み慣れた地域で暮らせるまちづくり

住み慣れた地域で健康に生きがいと安心をもって暮らすことは、高齢者のみならず多くの市民の願いです。しかしながら、長い人生の中には、病気や怪我などで医療と介護の両方を必要とする状態となり、これまでの生活が一変してしまうこともあります。

本計画では、前計画の基本理念である「高齢者がいつまでも安心して 住み慣れた地域で暮らせるまちづくり」を継承し、高齢者一人ひとりの人生（自立の状態から終末期に至るまで）に寄り添いながら推進することで、「地域包括ケアシステム」の充実・深化を図ります。

(2) 目指す将来像

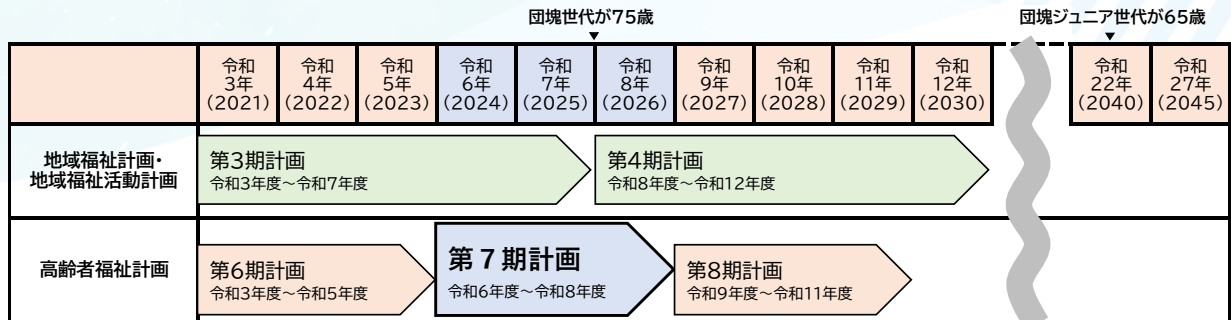
「本人が望む生き方」を家族や地域 専門職が支える地域社会が広がる

基本理念を実現するために、市民、関係機関、行政が「目指す将来像」を共有したうえで、高齢者の健康寿命を延伸するための様々な取り組みや、後期高齢者の増加を踏まえた多様な生活支援体制の整備、医療と介護の連携体制強化など、連携・協働して取り組み、本人が望む生活を支える地域社会を広げます。

また、高齢者を中心とするこれらの取り組みを推進するとともに、育児、介護、障害、貧困、さらには育児と介護が同時に直面する家庭など、世帯全体の複合化・複雑化した生活課題を包括的に受け止める重層的支援体制整備事業の実施を見据え、「地域共生社会」にもつながる取り組みを進めます。

(3) 計画期間と進行管理

■計画の期間



■進行管理

令和8年度の目標値達成に向け、本計画を推進するとともに、実施状況の把握と進行管理を行います。本計画の目標値は、「生活満足度（幸福感）」や「職務従事者満足度（やりがい）」といった指標であることから、その成果については令和8年度にアンケート調査等を実施して評価・分析を行います。

■評価指標と数値目標

評価指標	現状値 (令和5年度)	目標値 (令和8年度)
高齢者の生活満足度（平均点）	7.47点	8点
自治会活動やサークル活動、介護予防自主グループ活動等に参加している高齢者の割合	32.4%	35.0%
就労的活動（仕事や、趣味や特技を活かした地域交流活動）を行っている高齢者の割合	31.3%	35.0%



3 高齢者を取り巻く南島原市の現状

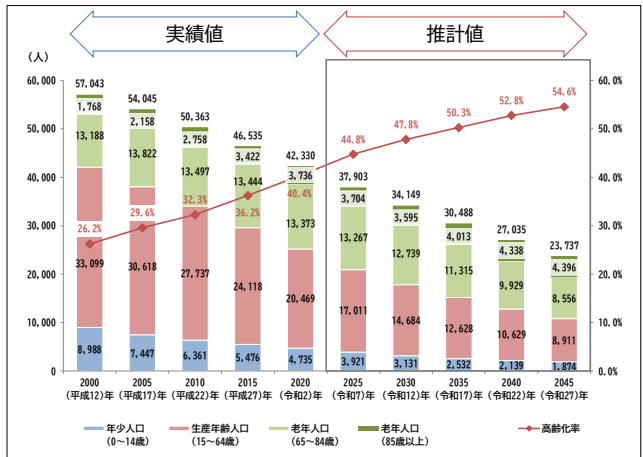
(1) 人口構造と高齢化の状況

■年齢3区分人口と高齢化の推移

本市の総人口は減少の一途をたどっており、年齢3区分別にみると、15～64歳の生産年齢人口及び15歳未満の年少人口は減少を続けています。

65歳以上の高齢者人口は増加を続けていましたが令和7年以降減少へと転じる予想となっています。なお、住民基本台帳上の高齢者人口は令和3年以降緩やかな減少傾向となっております。

一方で高齢化率は上昇の一途をたどっており、令和2年には40.4%と、市民の2.5人に1人が高齢者という状況になっています。また、令和17年には5割を超える予想となっており、市民の半数が高齢者となる見込みです。

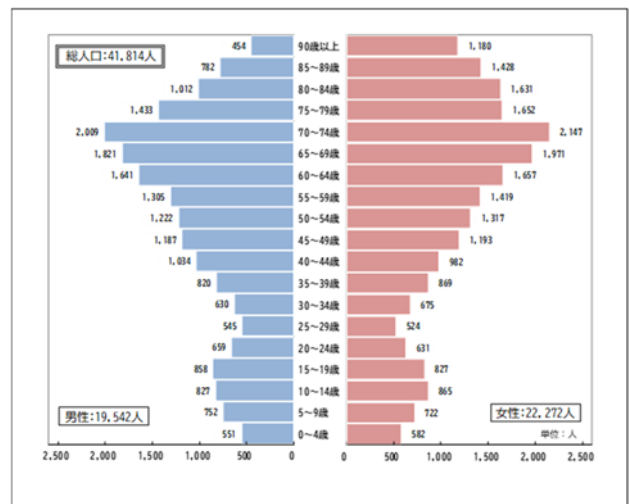


■人口ピラミッド

本市の総人口は、令和5年10月1日現在で、男性19,542人、女性22,272人、合計41,814人となっています。

年齢階層別にみると、70代前半が最も多く、そこから20代後半までは年齢階層が低くなるにつれて人口も少なくなっています。

今後5年間で70代前半の階層が順次後期高齢期に達する事から、特に後期高齢者(75歳以上)の更なる増加が見込まれます。



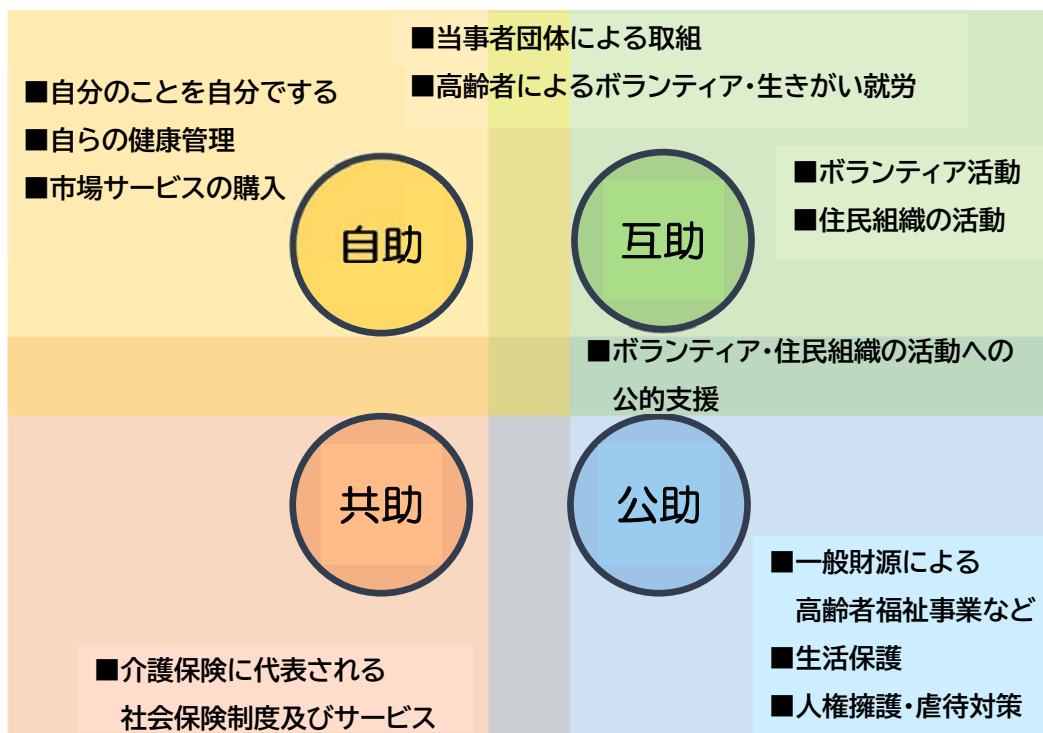
(2) 施策の3本の柱

基本理念及び目指す将来像を実現するため、本計画期間中は、次の3つを施策の柱として、自助、互助、共助、公助のバランスのとれたまちづくりを推進します。

施策の柱ごとの現状と課題及び今後の取り組みを明らかにするとともに、その進捗を図る指標と数値目標を設定します。

- 1 生きがい・健康づくり
- 2 介護予防・生活支援
- 3 在宅医療・介護連携の推進

■「自助」「互助」「共助」「公助」と地域包括ケアシステム



資料：地域包括ケアシステム研究会



4 高齢者保健福祉施策の展開

自立している状態

① 生きがい・健康づくり

①社会活動への参加促進

②健康づくりの推進

② 介護予防・生活支援

①サルコペニア・フレイル予防の推進

②認知症施策の推進

③生活支援体制整備の推進

支援が必要な状態

③ 在宅医療・介護連携の推進

在宅医療と介護連携イメージ（在宅医療の4場面別にみた連携の推進）



終末期

厚生労働省資料



第7期 南島原市高齢者福祉計画【概要版】

発行：令和6年3月

企画・編集：南島原市 福祉保健部 福祉課 総務高齢班

〒859-2412 長崎県南島原市南有馬町乙1023番地

TEL：0957-73-6651 FAX：0957-85-3142